

見守り 新鮮情報



☐ スプレー缶製品を**火気のある場所**で使うと、**引火**する危険性があることを知っていますか？

☐ スプレー缶製品を**高温になる場所**に置いていませんか？



☐ スプレー缶製品は**中身を使い切ってから廃棄**していますか？

☐ 家庭で使用することなく**長期間置いたまま**になっているスプレー缶製品はありませんか？



©Kurosaki Gen

スプレー缶製品 正しい知識で事故を防止！

● 殺虫剤や制汗剤、冷却スプレー等多くのスプレー缶の噴射剤には可燃性ガスが使われています。ガス器具等の火気があると噴射によって滞留した可燃性ガスに引火する危険性があります。火気のある場所では絶対に使わないでください。

ひとこと助言

火気のある場所では
使わないでね！



見守るくん

- スプレー缶を直射日光が当たる等高温になる場所に置くと、缶の内圧の上昇によって破裂の危険性がありますので注意してください。
- 廃棄の際は必ず中身を使い切りましょう。残存ガスを抜くためのガス抜きキャップが付属しているものは、それを活用しましょう。中身を使い切った後の缶の廃棄方法は、自治体によって異なります。お住まいの自治体の指示に従いましょう。
- 古いスプレー缶は内部の部品が劣化して噴射剤等が漏れたり、噴射が止まらなくなったりする可能性があります。また、缶本体が腐食して破裂したり、漏れた噴射剤に引火する等の事故を引き起こす危険性もあります。長期間放置されているものがないか確認し、不要なものは廃棄しましょう。
- スプレー缶本体に記載の注意書き等をよく読みましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第541号（2026年5月28日）発行：独立行政法人国民生活センター

消費生活トラブルは、
ひとりで悩まず、相談しよう！

消費者ホットライン
188（いやや）

岩手県立県民生活センター【消費生活相談電話】019-624-2209

平日9:00~17:30、土日10:00~16:00（年末年始・祝日休み）

